



（３）基本方針の取組状況

①特に実績をあげている取組（計画初年度(令和4年度)以降の取組状況）	②未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）
・ジュニア世代への競技力の向上を図るため、スポーツ指導者を中学校の運動部等へ派遣する制度を構築します。（中学生のスポーツ競技力向上を図るため、専門的な知識を持つトレーナーを派遣し基礎トレーニングを実施した。）	・競技力の向上や健康づくり等を総合的に支援する機能を持つ「スポーツ医科学センター」の設置について、検討を行います。（スポーツ医科学センターについては、社会情勢の変化等を勘案した結果、令和６年度予算での執行を見送り、令和７年度に所要額を計上し、国の地方創生交付金を活用したうえで、民間事業者等と連携し、令和７年度より実証事業として実施する。）

（４）令和６年度行政経営方針の取組状況

①令和６年度行政経営方針	②令和６年度行政経営方針の取組状況
・生活習慣病の予防や健康維持増進を図るため、スポーツ医科学センターの開設に向け、制度設計を行い整備を推進する。 ・指定管理者と協力して、施設利用者が安心して安全に利用できるよう、施設の計画的な維持管理修繕と施設整備計画の策定を行う。 ・ウィズコロナ及び熱中症対策を実施しながら、市民一人１スポーツを推進するため、広く参加が図られるよう、スポーツ教室やレクリエーション要素のあるスポーツイベントを実施する。 ・国民体育大会のレガシーとしてジュニア選手育成と指導力向上を目指し、基礎トレーニングなどの研修会を実施する。また、部活動地域移行後の運営団体に専門知識を持つ講師派遣を行い指導力向上の支援を行う。 ・部活動の地域移行を推進するため、地域部活動を運営する実施団体と協力し、受け皿となる組織づくりや運営体制を支援する。	・スポーツ医科学センターについては、社会情勢の変化等を勘案し、国の地方創生交付金を活用したうえで、民間事業者等と連携し、令和７年度より実証事業として実施できるよう準備を進めている。 ・スポーツ施設を利用者が安心・安全に利用できるよう、指定管理者と連携を図りながら修繕を実施した。大規模な改修工事については、長寿命化事業やスポーツ振興くじ助成（toto）を活用し、計画的に改修を実施した。 ・スポーツに取り組む市民を増やすためスポーツ・レクリエーションを始めるきっかけとなるスポーツ教室（R6:13種目20教室）やレクリエーションフェスティバル（R5:13種目）を開催した。 ・中学生のスポーツ競技力向上を図るため、専門的な知識を持つトレーナーを派遣し基礎トレーニング競技力向上講習会を実施した。 ・部活動地域移行が全校になった際の運営体制を検討して、関係団体の意向を確認し、指導員確保への協力について承諾を得た。

２．課題と次年度（令和8年度）の取組

（１）課題<環境変化や関係者の意見、要望等を踏まえて>	（２）課題に対する今年度（令和7年度）内の取組状況、予定	（３）次年度（令和8年度）の取組（案）
①日頃から健康づくり、体力づくりや趣味などのために、スポーツ（ウォーキング、軽い運動などを含む）を行う市民の割合が低い。 ②部活動地域展開推進計画に基づく指導者の確保 ③部活動地域移行の本格実施に向けた、実証事業を踏まえた運営体制の整備 ④スポーツ施設全体の老朽化が進行している。	①市民が参加しやすい、スポーツ大会やレクリエーション大会等を企画して開催する。 ②地域クラブ活動の全校実施に向け、多方面への協力依頼や、類似事業と一体的に人材を確保する方法により、確実に指導員を確保する。 ③地域クラブ活動運営の委託仕様を整理し、運営を担える市内外の法人格を有する団体や民間事業者の情報を収集する。 ④スポーツ施設の改修や修繕を行うとともに、スポーツ施設の更新などの構想（計画）を令和8年度に策定するための準備を進める。	①スポーツ大会やレクリエーション大会等の参加者に対し実施するアンケートの結果を基に、魅力的なイベントを企画する。 ②地域クラブ活動の継続的な運営のため、確実な指導者の確保に資する派遣登録のしくみを構築するとともに、指導力の向上を図る。 ③地域クラブ活動の運営体制の方針を確定し、それに向けての協議や事務スケジュールを立て計画的に進める。 ④スポーツ施設の改修や修繕を実施するとともに、スポーツ施設の更新などの構想（計画）を策定する。